

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	土木課	事業No.	233
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		11	災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める	
	分野別計画			飯田市地域防災計画	
法令・例規等			河川法		
			道路法		
事業目的	対象	市道、河川、排水路			
	意図	道路、河川、排水路の整備により社会基盤を強化する			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)					
	防災・安全対策が必要な道路整備を進めるとともに、通学路交通安全対策プログラムに位置付けられた通学路の交通安全対策として歩道等の整備に取り組みました。道路施設の定期点検を進めるとともに、橋りょうの長寿命化及び耐震整備を進めました。		防災・安全交付金事業（道路整備）				14,606					
			防災・安全交付金事業（通学路安全対策）				48,673					
			橋りょう長寿命化修繕事業				302,917					
			防災対策避難路整備事業				104,190					
			道路自然災害防止事業				19,382					
			橋りょう耐震整備事業				57,914					
			河川自然災害防止事業				41,773					
			河川改修事業（単独）				3,181					
			排水路整備事業				21,755					
その他の経費					2,438							
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）		単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	市道整備工事		箇所	17	17	17	17	16	13			
	橋りょう整備工事		箇所	6	6	6	5	6	8			
	河川整備工事		箇所	13	12	13	7	13	9			
	排水路整備工事		箇所	17	15	18	15	13	18			
1年度決算(千円)	予算額		793,615	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額		616,829	(国) 防災・安全交付金（道路整備）（5/10、5.5/10）								
	財源の状況	国庫支出金		198,845	(地) 公共事業等（充当率90%） 135,400千円							
		県支出金		0	(地) 緊急防災・減災（充当率100%） 163,800千円							
		地方債		360,500	(地) 自然災害防止（充当率100%） 61,300千円							
		その他		5,272	(そ) 繰越金							
一般財源		52,212	30→1 繰越明許費 131,186千円 1→2 繰越明許費 158,314千円									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	3	11	6	127,657	63,279	防災・安全交付金事業費（道路整備）
2	1	8	2	4	10	2	378,015	302,917	橋りょう長寿命化修繕事業費
3	1	8	2	3	12	4	108,671	106,628	防災対策避難路整備事業費
4	1	8	2	3	12	9	44,229	19,382	道路自然災害防止事業費
5	1	8	2	5	10	2	60,000	57,914	橋りょう耐震整備事業費
6	1	8	3	3	12	2	49,082	41,773	河川自然災害防止事業費
7	1	8	3	3	12	1	25,961	24,936	河川改修事業費（単独）
振り返り課題認識		通学路の交通安全対策については、現地状況等により整備が難航する路線も存在しますが、通学路の危険要因解消を目的とする整備を効率的に進める必要があります。 橋梁長寿命化修繕計画の見直しにより、今後5年以内に修繕する橋梁の把握ができたので、修繕工法を検討し効果的な修繕を進める必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		関係機関による情報共有を進めるとともに、現地確認及び点検の実施により、効果的な整備方法を検討し通学路の危険要因解消に取り組みます。 修繕対象橋梁の詳細設計業務委託に重点を置き、設計図書精度を高めるよう取り組みます。							
次年度に向けての取り組み		通学路交通安全対策プログラムに位置付けられた通学路の交通安全対策を進めます。 橋梁長寿命化修繕計画を基に優先度の高い橋梁から修繕を進めます。							